

お店の決済サービス『Air ペイ』、 JCB の「Smart Code™（スマートコード）」の取り扱い開始 対応する決済ブランドが 55 種に

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、カード・電子マネー・QR・ポイントも使えるお店の決済サービス『Air ペイ』は本日より、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：浜川 一郎、以下 JCB）が提供する「Smart Code（スマートコード）」の取り扱いを開始することをお知らせいたします。新たに「Smart Code」傘下の決済ブランド 17 種での支払いが可能になり、『Air ペイ』が対応する決済ブランド数は計 55 種に拡大します。



1. 取り組みの概要

『Air ペイ』は、iPad または iPhone と専用カードリーダー1 台でカードや電子マネー、QR コード決済*1 などさまざまな決済手段に対応しております。取り扱う決済ブランドが増えるほど『Air ペイ』はお店にとって来店客にとっても使いやすいサービスとなります。

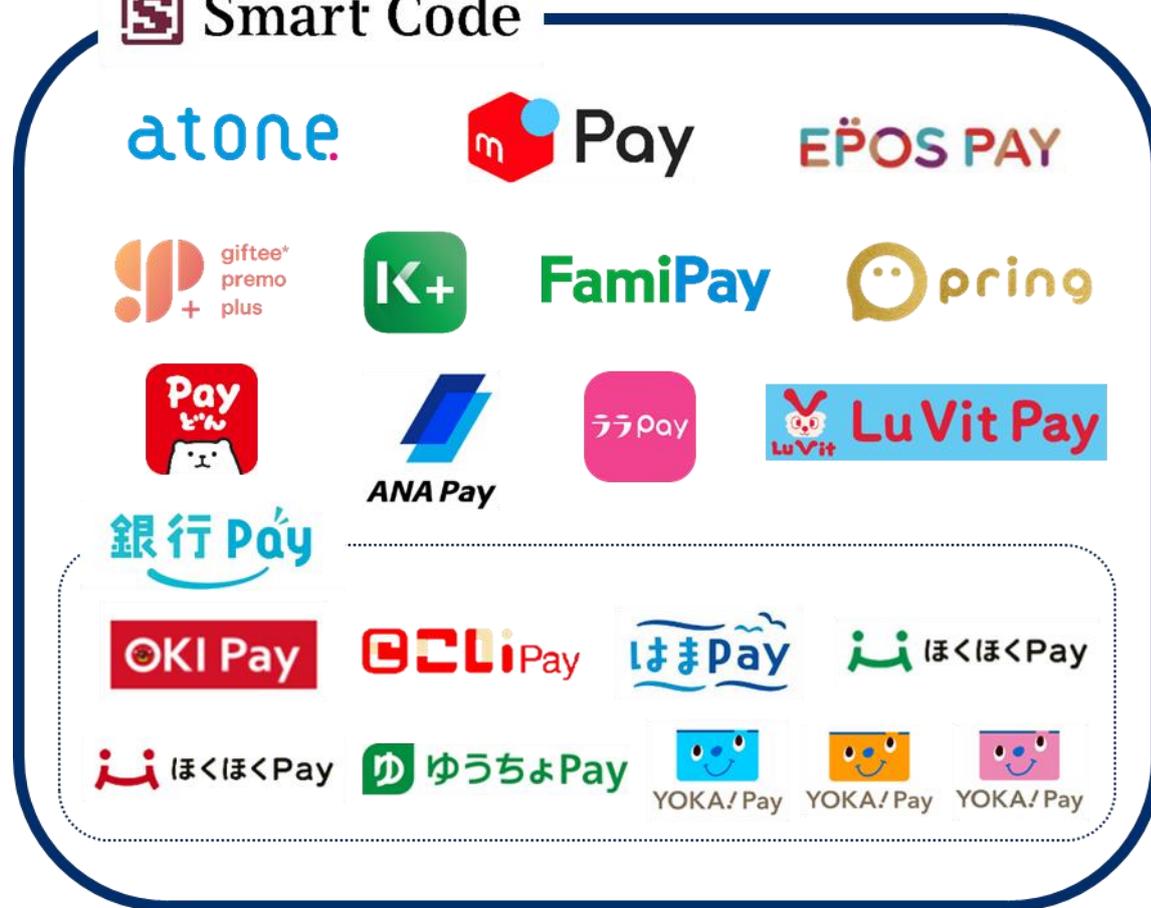
これまでも、主要国際ブランドのクレジットカードや交通系電子マネーはもちろん、「iD」「QUICPay」「Apple Pay」などの電子マネーや「PayPay」「d 払い」および訪日外国人向けの「支付宝（アリペイ）」などの QR 決済、そして「T ポイント」「Ponta」「d ポイント」「WAON ポイント」といった共通ポイントなどの決済手段に対応してまいりました。

このたび、『Air ペイ』の決済対応ブランドに、JCB が提供する「Smart Code」が加わります。「Smart Code」は JCB が QR 決済事業者と店舗をつなぐ決済情報処理センターの提供や、加盟契約の一本化を行うことで、QR 決済事業者や店舗の負荷軽減、消費者にとって安全・安心な決済を実現する決済スキームです。「メルペイ」や「EPOS PAY」など計 19（2022 年 9 月末時点）の QR 決済ブランドに対応しています。

「Smart Code」の追加により新たに利用できるようになる決済ブランドは以下の通りです。（五十音順）

atone、ANA Pay、EPOS PAY、ギフトプレモ Plus、銀行 Pay*2（OKI Pay、こい Pay、はま Pay、ほくほく Pay、ゆうちょ Pay、YOKAI Pay）、K PLUS、FamiPay、pring、Pay どん、メルペイ、ララ Pay、Lu Vit Pay

Smart Code



また、楽天ペイメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小林 重信）が提供する QR コード決済「楽天ペイ」、中国の大手 QR コード決済「支付宝（アリペイ・Alipay）」傘下の決済ブランド「TrueMoney」の取り扱いも本日開始します。これらにより、『Air ペイ』が対応する決済ブランド数は従来の計 36 種から計 55 種と大幅に増えます。

*1: QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。以下、同様

*2: 「銀行 Pay」は導入している銀行口座の引き落としなどによる即時支払いが、スマートフォンのアプリからできるサービスです。

2. 取り組みの背景

国内キャッシュレス決済比率は 3 割超え、政府は 8 割目指す

経済産業省によると、2021 年の国内の個人消費に占めるキャッシュレス決済の比率は 32.5%となりました。2020 年比で 2.8 ポイント増え、過去最高を更新したことから、消費者からのキャッシュレス決済ニーズが高まっている現状がうかがえます。経済産業省はキャッシュレス決済比率を 2025 年までに 4 割程度、将来的には世界最高水準の 8 割まで上昇させることを目指し、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいます。

キャッシュレス決済の中でも特に QR コード決済の伸びが目立ちます。キャッシュレス推進協議会が「PayPay」や「d払い」など QR コード決済を手がける主要な 16 社のデータを集計してまとめた「コード決済利用動向調査」（2022 年 4 月公表分）によると、2021 年の国内の QR コード決済取扱高は前年比 7 割増の 7 兆 3487 億円に上りました。また、店舗での利用件数は 48 億回と、前年比で 8 割増えました。

消費者のQRコード決済へのニーズの高まりに呼応するように、QRコード決済を利用できる場所も増加しています。今後もその傾向は続くと考えられ、お店側も対応を迫られています。

「Smart Code」追加でお店と来店客の支援手厚く 『Air ペイ』決済流通額1兆円へ

『Air ペイ』のアカウント数は2022年6月末時点で約30.4万件となり、前年同期比で32.8%増加しています。現在ご利用いただいているお店のみならず、またこれからご利用いただくみなさまにとって、「Smart Code」が追加されることは、来店客に向けた多様な決済手段の提供につながります。

2022年度内には『Air ペイ』の端末を通じた店舗決済金額(『Air ペイ QR』によるQR決済を含む)および『Air ペイ オンライン』を通じたオンライン決済における決済金額の合計金額が1兆円を超える見通しです。今回の取り組みにより、決済を通じたお店と来店客のさらなる支援が可能になると考えています。

3. サービス担当者コメント



塩原 一慶 (しおばら かずよし)

※ご取材可能

株式会社リクルート 決済プロダクト マネジメントユニット長

『Air ペイ』サービス担当者

決済の新しい領域を切り拓き社会に貢献したいと思いリクルートに入社。ITとWeb領域における幅広い知識と経験、金融、決済に関する深い知見を基に、決済事業を担当。2017年4月より現職。

「Smart Code」と共に、日本のキャッシュレス推進の一助に

『Air ペイ』は、6月末時点で30万もの店舗のみならずにご利用いただいております。2015年のサービス提供開始以来、1つのサービスで多種多様な決済手段に対応できる「オールインワン」戦略を掲げて、運営してまいりました。ご利用いただいている方からは「あらゆる決済手段に対応しており安心」、「使い方もシンプルで、アルバイトの店員の方への説明を何度もする必要がなく、楽だ」、「導入費用のコストの低さ、固定費用がかからないこともメリット」というお声を頂いております。

今回、JCBとの取り組みにより「Smart Code」の取り扱いを開始し、『Air ペイ』の決済手段は55種となります。店舗のみならず、来店したお客さまのよく利用する支払い手段に合わせた対応ができるようになることを期待しております。

近年、キャッシュレスの比率は高まり続けており、このトレンドはもはや不可逆だと考えています。『Air ペイ』を通じて、われわれは日本のキャッシュレスのトレンドを加速させる一助になりたい、社会の利便性を一段と向上させたい、と考えています。

4. 『Air ペイ』について

『Air ペイ』は、カード・電子マネー・QR・ポイントも使えるお店の決済サービスです。iPadまたはiPhoneと専用カードリーダー1台があれば、さまざまな決済手段に対応できます。2015年10月にサービス提供を開始し、2022年6月末時点で加盟店舗数は30.4万(※1)を超え、利用者の総合満足度No.1(※2)のお店の決

済サービスです。加盟店舗数は拡大を続けており、美容、飲食、小売り、サービスなどの幅広い業種に加え、地方自治体と包括連携協定を結ぶなど、全国各地で導入が進んでいます。

『Air ペイ』さえあれば、主要国際ブランドのクレジットカードや交通系電子マネーはもちろん、「iD」「QUICPay」「Apple Pay」などの電子マネーや「PayPay」「d払い」および訪日外国人向けの「支付宝（アリペイ）」などのQR決済、そして「Tポイント」「Ponta」「dポイント」などの共通ポイントまで、お客さまの望む決済手段に対応できます。手数料は業界最安水準。入金回数は3～6回で、月額固定費・振込手数料は0円です。導入したお店からは、「操作がカンタンで入ったばかりのアルバイトでも使えた」「カードの決済額が1年で10倍近く増えた」「カードリーダーひとつで対応できるのでレジ周りもスッキリした」などの声をいただいております。さらに、0円でカンタンに使えるPOSレジアプリ『Airレジ』と一緒に使うと、会計時の対応は決済手段をタップするだけで選択でき会計作業がより便利になります。決済手段ごとに異なる操作方法を覚える必要もなく、二度打ちによるミスも発生しません。

『Air ペイ』も含む Air ビジネスツールズでは、予約・受付管理、会計、決済から人材採用、シフト管理、資金調達や請求処理 まで、事業運営のアナログな業務にかかる、手間、時間、コストを軽減できます。

私たちは、事業を営むみなさまの「思い描く事業運営や自分らしいお店づくり」を、これからも支援し続けます。

※1：自社調べ

※2：調査主体：株式会社リクルート、調査機関：株式会社インテージ(2021年9月1日時点)、調査対象商品：国内店舗で利用可能なキャッシュレス決済端末(マルチ決済)、調査対象者：調査対象商品導入済みの飲食業・小売業・サービス業の運営店舗・施設において、調査対象商品の導入決定関与者もしくは調査対象商品使用者(2,003名)

5. 「Smart Code」について

コード決済事業者と店舗をつなぐJCBの決済スキームです。19(2022年9月末時点)のQR決済ブランドをまとめて取り扱い、決済情報センターの提供と加盟契約の一本化でお店の負担を軽減します。

[Smart Code とは？ | JCBのQR・バーコード決済スキーム Smart Code \(スマートコード\) \(smart-code.jp\)](https://www.jcb.com/smart-code/)

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>